

マーケットの動き（2021年3月29日～4月1日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初は、米国投資会社に関連する金融機関の巨額損失発生報道や米国長期国債利回りの上昇が警戒され、様子見ムードが強まりましたが、31日にバイデン政権がインフラ投資計画の概要を公表したことを受けて、ハイテク銘柄を中心に買戻しの動きが活発となり、NYダウとS&P500種株価指数は週内に最高値を更新しました。

一方、欧州株式市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2021年4月）

米国、欧州とも上値の重い展開

米国：FRBによる緩和的な金融政策、政府による追加経済対策やワクチン接種進展を受けて経済活動が正常化し企業業績が改善するとの見方が広がる一方、ハイテク企業に対する規制強化、法人や富裕層に対する増税、さらなる金利上昇への警戒などから、調整圧力もかかりやすいと考えられ、上値の重い展開を予想しています。

欧州：企業業績については世界的な景気回復の恩恵を受けるとみられる一方、欧州地域において新型コロナウイルスの感染再拡大による行動制限が長期化すれば業績への影響も懸念されることから、上値の重い展開が予想されます。

	4月1日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,019.87	1.14%	3.86%	20.05%	59.08%
NYダウ	33,153.21	0.24%	5.61%	19.76%	54.82%

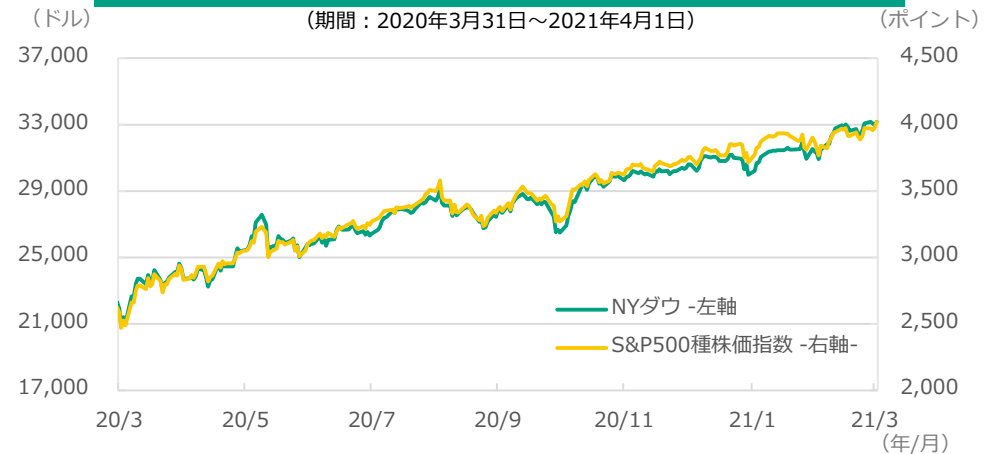
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

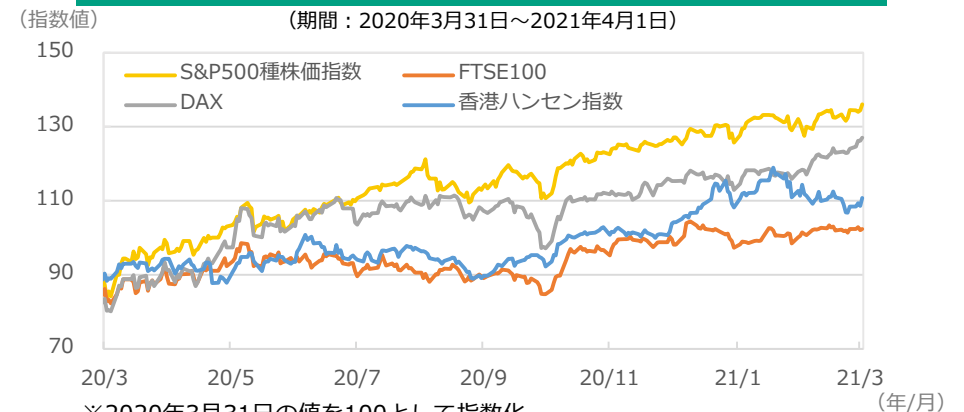
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202104_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成